

喜界島産のボタンボウフウ（長命草）に新機能を確認 内臓脂肪低減作用

有機ボタンボウフウを栽培する株式会社喜界島薬草農園（所在地：鹿児島県大島郡喜界島町、代表取締役：石原健夫）は、食後血糖値上昇抑制で機能性表示素材として販売しているボタンボウフウ（長命草）の新たな機能～内臓脂肪低減作用を確認したことからボタンボウフウの生産・販売を強化いたします。

喜界島薬草農園では、サトウキビに替わる島の産業の創出をめざし、2013年から農家と共に喜界島産のボタンボウフウの栽培、研究を行ってまいりました。世界的にも珍しい隆起サンゴからなる喜界島は、ミネラルが豊富な土壌で、そこで育つボタンボウフウは、他の産地のボタンボウフウと比較してクロロゲン酸の含有量が多いことがわかっています。

これまでの研究で、喜界島産ボタンボウフウ粉末は、食後の血糖値上昇を抑える作用が確認されてきました。また、抗肥満作用があるとされていましたが、ヒトを対象とした研究はありませんでした。

喜界島薬草農園では、健康な男女を対象としたボタンボウフウ粉末食品のプラセボと比較したランダム化二重盲検並行群間比較試験において、内臓脂肪面積に与える影響の研究を行いました。

その結果、ボタンボウフウ粉末の12週間継続摂取が内臓脂肪面積に与える影響について検証し、内臓脂肪面積、腹囲、ヒップ周囲径を低減する作用があることを明らかにしました。また、ボタンボウフウ粉末の継続摂取に起因する有害事象は発生せず、試験食品摂取に関連した臨床検査値の異常変動も見られなかったことから、安全性にも問題がないことを確認しました。

矢野経済研究所によると、消費者に最も関心の高い、機能性表示食品の機能は『おなかの脂肪、体重の減少』で、全ての性別・年代別で最も関心が高かったとの報告があります。これはコロナ禍における新生活様式の中で、体重の増加を気にする消費者が多い結果と見られ、その中でも基礎代謝が落ち、生活習慣病が気になり始める40～50代の関心が高いと

見られています。

近年、食生活の欧米化や運動不足など、我が国を取り巻く環境の変化によって肥満者が増加しています。肥満とは、体脂肪が過剰に蓄積した状態であり、糖尿病や脂質異常症、高血圧症、心血管疾患などの生活習慣病をはじめとする数多くの疾患のもととなることが知られています。健康を維持するためには肥満や内臓脂肪蓄積の予防・対策は重要な位置づけを持つと考えられています。


喜界島薬草農園では、今回得られた結果を元に、論文を投稿し、喜界島産ボタンボウフウの新しい機能として

- ・内臓脂肪低減機能
- ・腹囲低減機能
- ・ヒップ周囲径低減機能

を表示するSRを作成し、消費者庁への機能性表示食品の届出を行います。

喜界島薬草農園は、今後も喜界島産ボタンボウフウを通じて、人々の健康に寄与してまいります。

<会社概要>

商号	:	 株式会社喜界島薬草農園
代表者	:	代表取締役 石原健夫
所在地	:	〒891-6162 鹿児島県大島郡喜界町阿伝1535番地
設立	:	2013年4月
事業内容	:	機能性野菜及び加工品（機能性食品）の生産、販売
資本金	:	2,400万円
URL	:	https://kikaijima.co.jp